

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 10 月 12 日 (2006.10.12)

【公開番号】特開 2005-92707 (P2005-92707A)
 【公開日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-014
 【出願番号】特願 2003-327756 (P2003-327756)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

G 0 6 F 17/21 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/30 1 7 0 B

G 0 6 F 17/30 3 5 0 C

G 0 6 F 17/21 5 3 0 E

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 25 日 (2006.8.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

格納情報を格納する情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けてレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出システムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段を備えることを特徴とする類似度算出システム。

【請求項 2】

格納情報を格納するものであって異なる複数種の情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けてレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出システムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段と、前記比較先となるレイアウト結果の情報格納枠の種別および前記比較元となるレイアウト結果の情報格納枠の種別に基づいて種別類似度を算出する種別類似度算出手段と、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度および前記種別類似度算出手段で算出した種別類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段とを備えることを特徴とする類似度算出システム。

【請求項 3】

格納情報を格納する情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けかつ前記情報格納枠に情報を格納してレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出システムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段と、前記比較先となるレイアウト結果の格納情報の内容および前記比較元となるレイアウト結果の格納情報の内容に基づいて内容類似度を算出する内容類似度算出手段と、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度および前記内容類似度算出手段で算出した内容類似度に基づい

て前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段とを備えることを特徴とする類似度算出システム。

【請求項 4】

複数の格納情報を記憶した格納情報記憶手段から前記格納情報を選択する格納情報選択手段と、前記格納情報選択手段で選択した格納情報に基づいてレイアウトを行うレイアウト手段とを備え、前記レイアウト手段は、情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けてレイアウト領域に配置したレイアウト状態を規定したレイアウトテンプレートに従って前記情報格納枠に前記格納情報を格納することによりレイアウトを行うレイアウトシステムから得られたレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出システムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段と、前記比較先となるレイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートおよび前記比較元となるレイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートに基づいてテンプレート類似度を算出するテンプレート類似度算出手段と、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度および前記テンプレート類似度算出手段で算出したテンプレート類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段とを備えることを特徴とする類似度算出システム。

【請求項 5】

複数の格納情報を記憶した格納情報記憶手段から前記格納情報を選択する格納情報選択手段と、前記格納情報選択手段で選択した格納情報に基づいてレイアウトを行うレイアウト手段とを備え、前記レイアウト手段は、情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けてレイアウト領域に配置したレイアウト状態を規定したレイアウトテンプレートに従って前記情報格納枠に前記格納情報を格納することによりレイアウトを行うレイアウトシステムから得られたレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出システムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段と、前記比較先となるレイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートおよび前記比較元となるレイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートに基づいてテンプレート類似度を算出するテンプレート類似度算出手段と、前記比較先となるレイアウト結果の格納情報の内容および前記比較元となるレイアウト結果の格納情報の内容に基づいて内容類似度を算出する内容類似度算出手段と、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度、前記テンプレート類似度算出手段で算出したテンプレート類似度および前記内容類似度算出手段で算出した内容類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段とを備えることを特徴とする類似度算出システム。

【請求項 6】

格納情報を格納する情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けてレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出プログラムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段として実現される処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであることを特徴とする類似度算出プログラム。

【請求項 7】

格納情報を格納するものであって異なる複数種の情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けてレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出プログラムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段、前記比較先となるレイアウト結果の情報格納枠の種別および前記比較元となるレイアウト結果の情報

格納枠の種別に基づいて種別類似度を算出する種別類似度算出手段、並びに、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度および前記種別類似度算出手段で算出した種別類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段として実現される処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであることを特徴とする類似度算出プログラム。

【請求項 8】

格納情報を格納する情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けかつ前記情報格納枠に情報を格納してレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出プログラムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段、前記比較先となるレイアウト結果の格納情報の内容および前記比較元となるレイアウト結果の格納情報の内容に基づいて内容類似度を算出する内容類似度算出手段、並びに、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度および前記内容類似度算出手段で算出した内容類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段として実現される処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであることを特徴とする類似度算出プログラム。

【請求項 9】

複数の格納情報を記憶した格納情報記憶手段から前記格納情報を選択する格納情報選択手段と、前記格納情報選択手段で選択した格納情報に基づいてレイアウトを行うレイアウト手段とを備え、前記レイアウト手段は、情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けてレイアウト領域に配置したレイアウト状態を規定したレイアウトテンプレートに従って前記情報格納枠に前記格納情報を格納することによりレイアウトを行うレイアウトプログラムから得られたレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出プログラムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段、前記比較先となるレイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートおよび前記比較元となるレイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートに基づいてテンプレート類似度を算出するテンプレート類似度算出手段、並びに、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度および前記テンプレート類似度算出手段で算出したテンプレート類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段として実現される処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであることを特徴とする類似度算出プログラム。

【請求項 10】

複数の格納情報を記憶した格納情報記憶手段から前記格納情報を選択する格納情報選択手段と、前記格納情報選択手段で選択した格納情報に基づいてレイアウトを行うレイアウト手段とを備え、前記レイアウト手段は、情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けてレイアウト領域に配置したレイアウト状態を規定したレイアウトテンプレートに従って前記情報格納枠に前記格納情報を格納することによりレイアウトを行うレイアウトプログラムから得られたレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出プログラムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段、前記比較先となるレイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートおよび前記比較元となるレイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートに基づいてテンプレート類似度を算出するテンプレート類似度算出手段、前記比較先となるレイアウト結果の格納情報の内容および前記比較元となるレイアウト結果の格納情報の内容に基づいて内容類似度を算出する内容類似度算出手段、並びに、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度、前記テンプレート類似度算出手段で算出したテンプレート類似度および前記内容類似度算出手段で算出した内容類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段として実現される処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであることを

特徴とする類似度算出プログラム。

【請求項 1 1】

格納情報を格納する情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けてレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出方法であって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出ステップを含むことを特徴とする類似度算出方法。

【請求項 1 2】

格納情報を格納するものであって異なる複数種の情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けてレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出方法であって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出ステップと、前記比較先となるレイアウト結果の情報格納枠の種別および前記比較元となるレイアウト結果の情報格納枠の種別に基づいて種別類似度を算出する種別類似度算出ステップと、前記属性類似度算出ステップで算出した属性類似度および前記種別類似度算出ステップで算出した種別類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出ステップとを含むことを特徴とする類似度算出方法。

【請求項 1 3】

格納情報を格納する情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けかつ前記情報格納枠に情報を格納してレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出方法であって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出ステップと、前記比較先となるレイアウト結果の格納情報の内容および前記比較元となるレイアウト結果の格納情報の内容に基づいて内容類似度を算出する内容類似度算出ステップと、前記属性類似度算出ステップで算出した属性類似度および前記内容類似度算出ステップで算出した内容類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出ステップとを含むことを特徴とする類似度算出方法。

【請求項 1 4】

複数の格納情報を記憶した格納情報記憶手段から前記格納情報を選択する格納情報選択手段と、前記格納情報選択手段で選択した格納情報に基づいてレイアウトを行うレイアウト手段とを備え、前記レイアウト手段は、情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けてレイアウト領域に配置したレイアウト状態を規定したレイアウトテンプレートに従って前記情報格納枠に前記格納情報を格納することによりレイアウトを行うレイアウトシステムから得られたレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出方法であって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出ステップと、前記比較先となるレイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートおよび前記比較元となるレイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートに基づいてテンプレート類似度を算出するテンプレート類似度算出ステップと、前記属性類似度算出ステップで算出した属性類似度および前記テンプレート類似度算出ステップで算出したテンプレート類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出ステップとを含むことを特徴とする類似度算出方法。

【請求項 1 5】

複数の格納情報を記憶した格納情報記憶手段から前記格納情報を選択する格納情報選択手段と、前記格納情報選択手段で選択した格納情報に基づいてレイアウトを行うレイアウト手段とを備え、前記レイアウト手段は、情報格納枠と当該情報格納枠のレイアウト属性とを対応付けてレイアウト領域に配置したレイアウト状態を規定したレイアウトテンプレートに従って前記情報格納枠に前記格納情報を格納することによりレイアウトを行うレイ

ウトシステムから得られたレイアウト結果の類似度を算出する類似度算出方法であって、比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出ステップと、前記比較先となるレイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートおよび前記比較元となるレイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートに基づいてテンプレート類似度を算出するテンプレート類似度算出ステップと、前記比較先となるレイアウト結果の格納情報の内容および前記比較元となるレイアウト結果の格納情報の内容に基づいて内容類似度を算出する内容類似度算出ステップと、前記属性類似度算出ステップで算出した属性類似度、前記テンプレート類似度算出ステップで算出したテンプレート類似度および前記内容類似度算出ステップで算出した内容類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出ステップとを含むことを特徴とする類似度算出方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

〔手段 1〕 上記目的を達成するために、手段 1 の類似度算出システムは、情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けて所定のレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出するシステムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段を備えることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

ここで、レイアウトとは、例えば、画面上に表示することを目的としてレイアウトを行う場合にはその表示レイアウトを、紙面上に印刷することを目的としてレイアウトを行う場合にはその印刷レイアウトをいう。以下、手段 2 ないし 5 の類似度算出システム、手段 6 ないし 10 の類似度算出プログラム、並びに手段 11 ないし 15 の類似度算出方法において同じである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、本システムは、単一の装置、端末その他の機器として実現するようにしてもよいし、複数の装置、端末その他の機器を通信可能に接続したネットワークシステムとして実現するようにしてもよい。後者の場合、各構成要素は、それぞれ通信可能に接続されていれば、複数の機器等のうちいずれに属していてもよい。以下、手段 2 ないし 5 の類似度算出システムにおいて同じである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

〔手段 2〕 さらに、手段 2 の類似度算出システムは、

異なる複数種の情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けて所定のレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出するシステムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段と、前記比較先レイアウト結果の情報格納枠の種別および前記比較元レイアウト結果の情報格納枠の種別に基づいて種別類似度を算出する種別類似度算出手段と、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度および前記種別類似度算出手段で算出した種別類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段とを備えることを特徴とする。

【 手続補正 6 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

これにより、情報格納枠のレイアウト属性および種別に基づいて類似度が算出されるので、各情報格納枠ごとの類否を考慮してレイアウト結果の類似度を算出することができる。したがって、従来に比して、読み手の主観を比較的適切に反映した類似度を算出することができるという効果が得られる。

〔手段 3〕 さらに、手段 3 の類似度算出システムは、

情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けかつ前記情報格納枠に情報を格納して所定のレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出するシステムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段と、前記比較先レイアウト結果の格納情報の内容および前記比較元レイアウト結果の格納情報の内容に基づいて内容類似度を算出する内容類似度算出手段と、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度および前記内容類似度算出手段で算出した内容類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段とを備えることを特徴とする。

【 手続補正 7 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 7 】

これにより、情報格納枠のレイアウト属性および格納情報の内容に基づいて類似度が算出されるので、各情報格納枠ごとの類否、および格納情報の内容の類否を考慮してレイアウト結果の類似度を算出することができる。したがって、従来に比して、読み手の主観を比較的適切に反映した類似度を算出することができるという効果が得られる。

ここで、格納情報には、文字情報、画像情報その他レイアウトを構成可能な要素が含まれる。以下、手段 4 および 5 の類似度算出システム、手段 8 ないし 10 の類似度算出プログラム、並びに手段 13 ないし 15 の類似度算出方法において同じである。

【 手続補正 8 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 8 】

〔手段 4〕 さらに、手段 4 の類似度算出システムは、

複数の格納情報を記憶した格納情報記憶手段のなかから前記格納情報を選択する格納情報選択手段と、前記格納情報選択手段で選択した格納情報に基づいてレイアウトを行うレイアウト手段とを備え、前記レイアウト手段は、情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けて所定のレイアウト領域に配置したレイアウト状態を規定したレイアウトテンプレートに従って前記情報格納枠に前記格納情報を格納することによりレイアウトを行うレイアウトシステムから得られたレイアウト結果の類似度を算出するシステムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段と、前記比較先レイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートおよび前記比較元レイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートに基づいてテンプレート類似度を算出するテンプレート類似度算出手段と、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度および前記テンプレート類似度算出手段で算出したテンプレート類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

これにより、情報格納枠のレイアウト属性およびレイアウトテンプレートに基づいて類似度が算出されるので、各情報格納枠ごとの類否を考慮してレイアウト結果の類似度を算出することができる。したがって、従来に比して、読み手の主観を比較的適切に反映した類似度を算出することができるという効果が得られる。

〔手段 5〕 さらに、手段 5 の類似度算出システムは、

複数の格納情報を記憶した格納情報記憶手段のなかから前記格納情報を選択する格納情報選択手段と、前記格納情報選択手段で選択した格納情報に基づいてレイアウトを行うレイアウト手段とを備え、前記レイアウト手段は、情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けて所定のレイアウト領域に配置したレイアウト状態を規定したレイアウトテンプレートに従って前記情報格納枠に前記格納情報を格納することによりレイアウトを行うレイアウトシステムから得られたレイアウト結果の類似度を算出するシステムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段と、前記比較先レイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートおよび前記比較元レイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートに基づいてテンプレート類似度を算出するテンプレート類似度算出手段と、前記比較先レイアウト結果の格納情報の内容および前記比較元レイアウト結果の格納情報の内容に基づいて内容類似度を算出する内容類似度算出手段と、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度、前記テンプレート類似度算出手段で算出したテンプレート類似度および前記内容類似度算出手段で算出した内容類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

〔手段 6〕 一方、上記目的を達成するために、手段 6 の類似度算出プログラムは、情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けて所定のレイアウト領域に配

置したレイアウト結果の類似度を算出するプログラムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段として実現される処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであることを特徴とする。

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

このような構成であれば、コンピュータによってプログラムが読み取られ、読み取られたプログラムに従ってコンピュータが処理を実行すると、手段 1 の類似度算出システムと同等の作用および効果が得られる。

〔手段 7〕 さらに、手段 7 の類似度算出プログラムは、

異なる複数種の情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けて所定のレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出するプログラムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段、前記比較先レイアウト結果の情報格納枠の種別および前記比較元レイアウト結果の情報格納枠の種別に基づいて種別類似度を算出する種別類似度算出手段、並びに、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度および前記種別類似度算出手段で算出した種別類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段として実現される処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであることを特徴とする。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

このような構成であれば、コンピュータによってプログラムが読み取られ、読み取られたプログラムに従ってコンピュータが処理を実行すると、手段 2 の類似度算出システムと同等の作用および効果が得られる。

〔手段 8〕 さらに、手段 8 の類似度算出プログラムは、

情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けかつ前記情報格納枠に情報を格納して所定のレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出するプログラムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段、前記比較先レイアウト結果の格納情報の内容および前記比較元レイアウト結果の格納情報の内容に基づいて内容類似度を算出する内容類似度算出手段、並びに、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度および前記内容類似度算出手段で算出した内容類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段として実現される処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであることを特徴とする。

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

このような構成であれば、コンピュータによってプログラムが読み取られ、読み取られたプログラムに従ってコンピュータが処理を実行すると、手段３の類似度算出システムと同等の作用および効果が得られる。

〔手段９〕 さらに、手段９の類似度算出プログラムは、

複数の格納情報を記憶した格納情報記憶手段のなかから前記格納情報を選択する格納情報選択手段と、前記格納情報選択手段で選択した格納情報に基づいてレイアウトを行うレイアウト手段とを備え、前記レイアウト手段は、情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けて所定のレイアウト領域に配置したレイアウト状態を規定したレイアウトテンプレートに従って前記情報格納枠に前記格納情報を格納することによりレイアウトを行うレイアウトプログラムから得られたレイアウト結果の類似度を算出するプログラムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段、前記比較先レイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートおよび前記比較元レイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートに基づいてテンプレート類似度を算出するテンプレート類似度算出手段、並びに、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度および前記テンプレート類似度算出手段で算出したテンプレート類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段として実現される処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであることを特徴とする。

【手続補正１４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２７】

このような構成であれば、コンピュータによってプログラムが読み取られ、読み取られたプログラムに従ってコンピュータが処理を実行すると、手段４の類似度算出システムと同等の作用および効果が得られる。

〔手段１０〕 さらに、手段１０の類似度算出プログラムは、

複数の格納情報を記憶した格納情報記憶手段のなかから前記格納情報を選択する格納情報選択手段と、前記格納情報選択手段で選択した格納情報に基づいてレイアウトを行うレイアウト手段とを備え、前記レイアウト手段は、情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けて所定のレイアウト領域に配置したレイアウト状態を規定したレイアウトテンプレートに従って前記情報格納枠に前記格納情報を格納することによりレイアウトを行うレイアウトプログラムから得られたレイアウト結果の類似度を算出するプログラムであって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出手段、前記比較先レイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートおよび前記比較元レイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートに基づいてテンプレート類似度を算出するテンプレート類似度算出手段、前記比較先レイアウト結果の格納情報の内容および前記比較元レイアウト結果の格納情報の内容に基づいて内容類似度を算出する内容類似度算出手段、並びに、前記属性類似度算出手段で算出した属性類似度、前記テンプレート類似度算出手段で算出したテンプレート類似度および前記内容類似度算出手段で算出した内容類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出手段として実現される処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであることを特徴とする。

【手続補正１５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 8 】

このような構成であれば、コンピュータによってプログラムが読み取られ、読み取られたプログラムに従ってコンピュータが処理を実行すると、手段 5 の類似度算出システムと同等の作用および効果が得られる。

〔手段 1 1〕 一方、上記目的を達成するために、手段 1 1 の類似度算出方法は、情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けて所定のレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出する方法であって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出ステップを含むことを特徴とする。

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 9 】

これにより、手段 1 の類似度算出システムと同等の効果が得られる。

〔手段 1 2〕 さらに、手段 1 2 の類似度算出方法は、

異なる複数種の情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けて所定のレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出する方法であって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出ステップと、前記比較先レイアウト結果の情報格納枠の種別および前記比較元レイアウト結果の情報格納枠の種別に基づいて種別類似度を算出する種別類似度算出ステップと、前記属性類似度算出ステップで算出した属性類似度および前記種別類似度算出ステップで算出した種別類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出ステップとを含むことを特徴とする。

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 0 】

これにより、手段 2 の類似度算出システムと同等の効果が得られる。

〔手段 1 3〕 さらに、手段 1 3 の類似度算出方法は、

情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けかつ前記情報格納枠に情報を格納して所定のレイアウト領域に配置したレイアウト結果の類似度を算出する方法であって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出ステップと、前記比較先レイアウト結果の格納情報の内容および前記比較元レイアウト結果の格納情報の内容に基づいて内容類似度を算出する内容類似度算出ステップと、前記属性類似度算出ステップで算出した属性類似度および前記内容類似度算出ステップで算出した内容類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出ステップとを含むことを特徴とする。

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

これにより、手段3の類似度算出システムと同等の効果が得られる。

〔手段14〕さらに、手段14の類似度算出方法は、

複数の格納情報を記憶した格納情報記憶手段のなかから前記格納情報を選択する格納情報選択手段と、前記格納情報選択手段で選択した格納情報に基づいてレイアウトを行うレイアウト手段とを備え、前記レイアウト手段は、情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けて所定のレイアウト領域に配置したレイアウト状態を規定したレイアウトテンプレートに従って前記情報格納枠に前記格納情報を格納することによりレイアウトを行うレイアウトシステムから得られたレイアウト結果の類似度を算出する方法であって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出ステップと、前記比較先レイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートおよび前記比較元レイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートに基づいてテンプレート類似度を算出するテンプレート類似度算出ステップと、前記属性類似度算出ステップで算出した属性類似度および前記テンプレート類似度算出ステップで算出したテンプレート類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出ステップとを含むことを特徴とする。

【手続補正19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

これにより、手段4の類似度算出システムと同等の効果が得られる。

〔手段15〕さらに、手段15の類似度算出方法は、

複数の格納情報を記憶した格納情報記憶手段のなかから前記格納情報を選択する格納情報選択手段と、前記格納情報選択手段で選択した格納情報に基づいてレイアウトを行うレイアウト手段とを備え、前記レイアウト手段は、情報格納枠を当該情報格納枠のレイアウト属性と対応付けて所定のレイアウト領域に配置したレイアウト状態を規定したレイアウトテンプレートに従って前記情報格納枠に前記格納情報を格納することによりレイアウトを行うレイアウトシステムから得られたレイアウト結果の類似度を算出する方法であって、

比較先となる前記レイアウト結果のレイアウト属性および比較元となる前記レイアウト結果のレイアウト属性に基づいて属性類似度を算出する属性類似度算出ステップと、前記比較先レイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートおよび前記比較元レイアウト結果を得るのに利用したレイアウトテンプレートに基づいてテンプレート類似度を算出するテンプレート類似度算出ステップと、前記比較先レイアウト結果の格納情報の内容および前記比較元レイアウト結果の格納情報の内容に基づいて内容類似度を算出する内容類似度算出ステップと、前記属性類似度算出ステップで算出した属性類似度、前記テンプレート類似度算出ステップで算出したテンプレート類似度および前記内容類似度算出ステップで算出した内容類似度に基づいて前記類似度を算出するレイアウト結果類似度算出ステップとを含むことを特徴とする。

【手続補正20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

これにより、手段５の類似度算出システムと同等の効果が得られる。

【手続補正２１】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１０２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０１０２】

これにより、過去のレイアウト結果を比較元レイアウト結果４として用いることができるので、同一の業種に属する他のユーザに対して過去提供したことがあるレイアウト結果に対して独自性の高いレイアウトを実現することができる。

上記第１の実施の形態において、類似度算出部１８およびステップＳ４００～Ｓ４０８は、手段１または６のレイアウト結果類似度算出手段に対応し、ステップＳ４００～Ｓ４０８は、手段１１のレイアウト結果類似度算出ステップに対応している。

【手続補正２２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１２３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０１２３】

上記第２の実施の形態において、レイアウト要素登録ＤＢ４０は、手段４、５、９、１０、１４または１５の格納情報記憶手段に対応し、ステップＳ２１０は、手段４、５、９、１０、１４または１５の格納情報選択手段に対応し、ステップＳ２１２～Ｓ２１８は、手段４、５、９、１０、１４または１５のレイアウト手段に対応している。また、ステップＳ５００，Ｓ５０２は、手段５若しくは１０の内容類似度算出手段、または手段１５の内容類似度算出ステップに対応し、ステップＳ５０４，Ｓ５０６は、手段４、５、９若しくは１０の属性類似度算出手段、または手段１４若しくは１５の属性類似度算出ステップに対応している。

【手続補正２３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１２４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０１２４】

また、上記第２の実施の形態において、ステップＳ５０８，Ｓ５１０は、手段４、５、９若しくは１０のテンプレート類似度算出手段、または手段１４若しくは１５のテンプレート類似度算出ステップに対応し、ステップＳ５１２は、手段４、５、９若しくは１０のレイアウト結果類似度算出手段、または手段１４若しくは１５のレイアウト結果類似度算出ステップに対応している。

【手続補正２４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１３９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０１３９】

上記第３の実施の形態において、レイアウト要素登録ＤＢ４０は、手段４、５、９、１０、１４または１５の格納情報記憶手段に対応し、ステップＳ２１０は、手段４、５、９、１０、１４または１５の格納情報選択手段に対応し、ステップＳ２１２～Ｓ２１８は、手段４、５、９、１０、１４または１５のレイアウト手段に対応している。また、ステップＳ６０２は、手段４、５、９若しくは１０の属性類似度算出手段、または手段１４若しくは１５の属性類似度算出ステップに対応し、ステップＳ６０４は、手段５若しくは１０

の内容類似度算出手段、または手段 1 5 の内容類似度算出ステップに対応している。

【手続補正 2 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 4 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 4 0】

また、上記第 3 の実施の形態において、ステップ S 6 0 6 は、手段 4、5、9 若しくは 1 0 のテンプレート類似度算出手段、または手段 1 4 若しくは 1 5 のテンプレート類似度算出ステップに対応し、ステップ S 6 1 2 は、手段 4、5、9 若しくは 1 0 のレイアウト結果類似度算出手段、または手段 1 4 若しくは 1 5 のレイアウト結果類似度算出ステップに対応している。